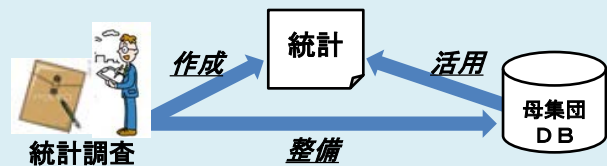


経済構造統計のミッション

必要な対応

- 事業所及び企業の基本的構造等の変化をより正確・タイムリーに把握
- 業務の高度化・効率化

- ◆ 産業関連統計の基盤となる統計情報の整備
- ◆ 地方創生と経済好循環の確立に資する統計の作成
- ◆ 昨今の環境変化への的確な対応



求められる統計（ビジネス・デモグラフィック、ビジネス・パターン）

- 事業所数の増減、特定時点における事業所数などに関する統計を推計により**毎年度作成**
- 地域別、産業別、規模別等の事業所数などに関する統計を推計により**毎年度作成**

統計調査の見直し（調査の経常化）

- 郵送・オンライン調査（専門職員の直接照会による売上高、従業者数等の把握）
 - ✓ 主要な企業グループを構成するトップ企業に対しては、**専任の担当職員**を当て、**中核的な情報や組織構造を無理なく、正確・タイムリーに収集するプロファイリング**を実施
 - ✓ プロファイリング実施のための**人材育成及び体制整備**を行う



- 調査員調査（ローリング方式による事業所の活動状態の把握）
 - ✓ 調査区等の地域ごとに期日を設け、**複数年度にわたって経常的に順次調査するローリング調査**を実施
 - ✓ 事業所の開廃等の活動状態を原則として**外観から効率的に把握**
 - ✓ 調査員用端末を導入（情報システムを活用）し、**調査結果をタイムリーに把握**
 - ✓ 新設事業所については調査票等を配布（ポスティング）して調査
 - ✓ 調査員の**継続的な確保及び業務習熟度の向上**を図る



今後の具体化に当たっての主な検討事項

- ✓ ローリング調査の実施周期・スケジュールリング
- ✓ 地下街、大型商業施設等の地域特性を考慮した効果的な調査の実施及び調査区情報の整備
- ✓ プロファイリングの対象となる主要な企業グループのトップ企業の範囲及び照会頻度
- ✓ 調査員用端末を導入した情報システムの構築
- ✓ 緯度経度情報の活用 など

平成31年度からの本格的実施を目指す